

## 1. 抄録原稿の記述方法

- 1) 言語 記述する言語は日本語とする。フォントは明朝体、英数字は半角とする。
- 2) 文章で記述
  - ・抄録原稿は文章のみとし、図表等は不可とする。
  - ・文字数は1000字以内とする。
  - ・〈研究報告〉〈事例報告・実践報告〉のいずれかを選び、それぞれ決められた形式で記述する。

研究報告：介入研究、観察研究、インタビュー調査など

事例報告・実践報告：

事例報告とは、過去の事例を振り返り、今後の示唆を考察したもの。

実践報告とは、個人や組織による先進的な実践や取り組みなどの報告。

## 2. 抄録原稿の形式

2行目：表題

4行目：発表者・共同発表者名と所属施設名

※ 発表者を筆頭に記述し前に○をつける。

※ 共同発表者がいる場合は、発表者の後ろに名を連ねる。

※ 所属施設を記載し、発表者・共同発表者名の所属先を示すために番号を付記する。

記入例 ○九州 腎子<sup>1</sup>、福岡 人造<sup>1</sup>、博多 ひよこ<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人 A 会 福岡 B 病院、<sup>2</sup>医療法人 B 会 C クリニック

1行あけて：キーワード（内容を示す重要な語句を3つから5つ記述）

1行あけて、以下の項目ごとに記述する。＊項目は、【 】に入れて記述する。

〈研究報告〉の構成：【はじめに】【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】

＊〈研究報告〉の【方法】には、研究対象者、研究方法、調査期間、データ収集方法、分析方法を記述してください。

〈事例報告・実践報告〉の構成：【目的】【倫理的配慮】【事例紹介】【実施】【結果】【考察】

＊事例を用いない実践報告（業務改善等の報告など）の場合、【事例紹介】は不要。

【実施】に、取り組み前の現状や問題点、取り組み内容を明確に記述してください。

## 3. 記述する際の注意事項

1) 倫理的配慮について

- ・研究の参加と発表について研究対象者の同意を得ていること、倫理審査を受け承認を得ていることは、必ず記載が必要である。
- ・所属施設等の研究倫理審査委員会からの承認を得たうえで、それを記述する。所属施設に

研究倫理審査委員会を設けていない場合は、施設のルールに則った方法で審査を受け、承認を得たことを記述してください。

- ・ 下記「看護研究のための倫理指針 国際看護師協会 訳：日本看護協会」の2. 3. を参照する。
- ・ 文章全体において、対象者に対して配慮した表現で記述する。

#### 2) 対象者の個人情報保護について

対象者の個人情報保護に配慮し、個人が特定可能な番号、イニシアル、呼び名、住所などは記載しないこと。日付は臨床経過を知るうえで必要な場合のみ最低限の記載とし、日数などに置き換えて説明できる場合は記載しない（例：入院1日目など）。施設名や所在地が分かる記載も避ける。

#### 4. 提出について

- ・ 共同研究者を含む全員の参加登録が必要である。
- ・ 提出方法：演題募集期間に、ホームページより発表者本人が抄録を登録する。

演題募集期間：5月7日（火）～7月31日（水）

#### 5. 抄録選考について

抄録の採否は、選考委員会にて決定の上、発表者へメールにて結果を通知する。上記の規定に準じていない場合は修正を求めることがある。

**※必ずお読みください。**

「看護研究のための倫理指針 国際看護師協会 訳：日本看護協会」  
特に、「2. 研究の健全性」「3. 倫理審査委員会（IRBs）」は必ず目を通してください。

リンクのQRコード



九州 CKD 看護研究会 抄録原稿の作成チェックリスト

※抄録の文章を作成したのち、チェックリストで確認してから HP より提出してください。

※<研究報告>と<事例報告・実践報告>の記入例があります。種類を確認して参考にしてください。

※チェックリストの提出は必要ありません。

✓	抄録作成と登録の規定項目
1	抄録原稿は日本語の文章のみとし、図表等は記載していない。
2	英数字は半角とした。
3	文字数は1000字以内である。
4	2行目に表題を記載した。
5	4行目：発表者・共同発表者名を正しく記載した。①発表者を筆頭に記載して氏名の前に○を入れ、共同発表者は名を連ねて記述した。②所属施設を記載し、所属している施設が分かるように施設名と発表者・共同発表者に番号を記載した。
6	上記より1行あけてキーワードと書き、内容を示す重要な語句を3つから5つを記載した。
7	<研究報告>を選択した方：【はじめに】【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】のすべての項目を記載した。
8	<研究報告>を選択した方：【方法】に、研究対象者、研究方法、調査期間、データ収集方法、分析方法を記載したか確認した。
9	<事例報告・実践報告>を選択した方：【目的】【倫理的配慮】【事例紹介】【実施】【結果】【考察】のすべての項目を記載した。
10	項目は、【 】に入れて記載した。
11	【倫理的配慮】へ、倫理審査を受け承認を得たことと、研究の参加と発表について研究対象者の同意を得たことを記載した。
12	【倫理的配慮】の記述にあたり「看護研究のための倫理指針」に目を通した。
13	対象者の個人が特定可能な番号、イニシアル、呼び名、住所などの記載がないこと、日付は臨床経過を知るうえで必要最低限の記載としたこと、施設名や所在地が分かる記載をしていないことを確認した。
14	文章全体において対象者に対して配慮した表現がなされていることを確認した。
15	共同研究者を含む全員の参加登録があることを確認した。



